

日本共産党 山形市議団報告

2007年
5月20日
第1196号

日本共産党山形市議団
山形市小白川町四 一三 一五 電話(六四二)四三三三
メール 28822@138ms.on.ne.jp
市議会議員 高橋か一郎 柏倉一二七 (六四三)三四三九
今野 誠一 船町一六 (六八四)九八三二
佐藤あき子 青田一七三六・A (六四二)八六四〇
ホームページ URL: /www2.on.ne.jp/jsc-jmrsalw/

新議会スタート

議長、副議長、 党市議団の常任委員会所属など決まる

市議会臨時議会が十五日開かれ、議長・副議長の選挙、常任委員の選任・正副委員長選挙などが行われ、新しい議会の構成が決まりました。

議長・副議長選挙結果

議長 酒井 靖悦(市民連合) 十九票
副議長 加藤 賢一(緑政・公明クラブ) 十八票
長瀬 洋男(新翔会) 十四票
高橋か一郎(日本共産党) 三票

その結果、議長に酒井靖悦議員、副議長に加藤賢一議員が選出されました。

今野 誠一(各派代表者会)

産業文教常任委員会 議会運営委員会
議会図書室運営委員会(委員長)
山形広域環境事務組合議会議員

佐藤あき子

厚生常任委員会 議会報委員会
社会教育委員

なお、市議会党派構成は、
日本共産党山形市議団二名のほかに、
新翔会(十四名)
緑政・公明クラブ(九名)
市民連合山形市議団(七名)

が結成され(議長、副議長は会派を離脱)、四つの会派で構成されることになりました。

日本共産党市議団の所属は、次のとおりです。 高橋か一郎(各派責任者会)

総務常任委員会 住居表示委員会
森林整備推進協議会委員

地方自治と議会制民主主義の発展を

政務調査費の使途基準の透明化など議長、副議長に申し入れ

十五日、党市議団は、地方自治と議会制民主主義の発展を目指す立場から、議長・副議長に対し、次の内容で申し入れを行いました。

- 一、憲法の平和条項を遵守し、議会制民主主義の立場に立ち、公正な議会運営をはかること。
- 一、少数意見の尊重、議員の発言権の保障につとめ、活発な議会運営をはかること。
- 一、地方自治発展の立場から議員定数は

削減せず、議員報酬、政務調査費の検討については市民の理解が得られるようつとめること。

- 一、政務調査費の使途基準について、監査委員会の付言も考慮に入れ、市民が納得できるものにあらためること。
- 一、市民にひらかれた議会をめざすこと。
- 一、公費による宴会は自粛すること。



議長(中央)、副議長(左側)に申し入れる党市議団

国民健康保険税の引き下げを

山形市に申し入れ

十六日、党市議団は、定率減税の廃止や介護保険料の値上げなどで、市民の負担が次々と増えているなか、平成十五年度から十七年度にかけて段階的に賦課方式が変更され、平均二割近い増税となるなど、負担の重い国民健康保険税を引き下げるべきとの立場から、山形市に対し次の内容で申し入れを行いました。

- 一、減額・免除制度の手続きをしやすいこと。
- 一、命に関わる資格証明書の発行はしないこと。

応対した高橋市民生活部長は、「一律に資格証明書を発行することはせず、相談があった場合には発行はしない」ことを今後も行っていくと答えました。



高橋市民生活部長(左から2人目)に申し入れる党市議団

生活道路整備などで 要望受け、早速行動

高橋か一郎市議



五月八日、飯田、蔵王工業高校の上の市道を横断している水路があふれている問題で、「アンカーブロック工事を」と町内会長さんらの来宅を受け、早速道路維持課長に「昨年からの陳情している」と話をし、市で早速工事発注するとの答弁。

十日には、隔間場の河川、川岸の崩壊の現場を視察。翌十一日、市河川道路課の係二人に現地に来てもらい、暫定工事を発注することに。

また、十一日、蔵王山田の農業用水等の湧水路の崩れ現象に対し、農村整備課の係二人に現場に来てもらい、復旧の設計見積もりを出すことになりました。

六月議会(六月七日開会予定)の請願の締め切りは、五月二十八日(月)です